



八頭町立郡家東小学校 学校だより
ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成



輝く瞳をもつ子供

第9号 R5. 11. 30
八頭郡八頭町稲荷310番地
TEL 0858-73-0010
FAX 0858-73-0011
E-mail
kogee-e@mailk.torikyo.ed.jp



つながる子
うみだす子
やりぬく子

盛田里美



来年の干支「辰」のイラストを見かけることが多くなってきました。寒さも本格的になるかと思えば暑い日もあり、体調管理が難しい今日この頃です。鳥取県内では、インフルエンザの流行が始まっており学校でも「手洗い」「換気」に気を付けています。

新型コロナウイルス感染症拡大の約3年間、わたしたちの生活は大きく変わりました。高校野球夏の甲子園大会中止もその一つでした。そのとき大舞台でのプレーを夢見た元高校球児が11月29日から甲子園球場で「あの夏を取り戻せ」というイベントを開催しています。鳥取県からは倉吉東高元球児が参加するため、足羽教育長を表敬訪問という記事が出ていました。この記事を読んだとき「一体このイベントは誰がどのようにして立ち上げたのだろう。」と不思議に思っていたのですが、企画した東京の大学生のことが新聞で紹介されました。今年の夏にこの大会開催を思いつき、準備を進めたとのことでした。「コロナ禍で失ったものに終止符を打つような動きが広がれば」との願いが、たくさんの人の心を動かし実現したのだそうです。

まさに本校がめざす「つながる子 うみだす子 やりぬく子」のモデルです。それは決して日本中に大きなうねりを起こしたこの大学生のようにみんながなろうということではありません。「一人一人が自分のよさを生かし、世のため人のためになる生き方を志して欲しい」ということです。自分のよさは自分では気づきにくいものなので、学校・家庭・地域で子供たち一人一人のよさをタイムリーに伝えることの大切さを改めて感じます。また、子供たちが自信を持って進んでいくためには、基礎・基本の習得はやはり大切です。暗記や反復練習は面白いものではありません。家庭学習がしんどい気持ちも痛いほどわかります。しかし「基礎・基本の習得の先にはこんなにいいことがあるよ」という、やり抜くことの素晴らしさを、子供の気持ちに寄り添いながら伝えていきたいと思います。

私自身、家庭学習の大切さと勉強することの面白さに気づくことができたのは高校生になってからでした。それまでは、家庭学習がしんどくてかなり苦戦していました。しかし、先生や親が長い目で温かく見守り、時には夢のある話をしてくれたから学ぶことの大切さに気づくことができたのだと思います。まずは自分が子供と共に夢を語り、子供たちのモデルとなる「つながり うみだし やりぬく」大人でありたいと思います。